

THAILAND ECONOMIC UPDATE September 2021

ศูนย์วิจัยกสิกรไทย
KASIKORN RESEARCH CENTER



7 月も新型コロナの第 3 波が景気下押し

▶ 要点

- ▶ 2021 年 7 月のタイ経済は、新型コロナの第 3 波の発生により、下押し圧力がかかっています。民間消費・投資は前月に比べ鈍化傾向にあります。輸出も仕向け先の需要がやや落ち込み、回復ペースは鈍化しました。
- ▶ 一方で、「プーケット・サンドボックス」の開始によって、ごくわずかながら外国人旅行者は回復しました。
- ▶ 2021 年 8 月のヘッドライン・インフレ率は、前年同月比 0.02% 減少し、前月からややマイナス成長となりました。その主な理由は、果物・野菜など食品・飲料部門の価格が下落したほか、住宅の価格も落ち込みました。一方で、振れ幅の大きい生鮮食品とエネルギーを除くコア・インフレ率は、前年同月比 0.07% の小幅な上昇で、前月と比べ横ばいとなりました。
- ▶ カシコン・リサーチセンターは、2021 年のバイオプラスチックの一種であるポリ乳酸 (Poly Lactic Acid, PLA) の輸出量が前年比 38.6% 増加するとの予測を示しました。2022 年は輸出成長率が 13.6% 増の見通しです。

▶ タイ経済の動向

2021年7月のタイ経済情報

タイ中央銀行が発表した2021年7月の重要な経済指標によると、新型コロナウイルス感染症の第3波は引き続きタイ景気回復に下押し圧力がかかっています。民間消費・投資も前年に比べ鈍化傾向にあり、渡航制限の影響から外国人旅行者の低迷も続いています。また、輸出も仕向け先の需要がやや落ち込み、回復ペースは鈍化しました。

7月の民間消費は前年同月比8.1%縮小しました。非耐久消費財が10.2%減、サービスが8.1%減、耐久消費財が8.0%減となりました。しかしながら、半耐久消費財が3.4%増となりました。

2021年7月のタイ経済指標成長率 (Y-O-Y: 前年比)



一方で、民間投資は、前年同月比11.6%上昇しました。国内の機械販売が25.3%増、機械・設備を中心とした資本財の輸入が24.9%増となりました。しかしながら、商用車の購入は10.8%減、建材の販売は11.8%減となりました。建設認可を受けた土地の面積は6.9%減でした。

7月の輸出は、前年同月比21.7%増の225億米ドルとなりました。貿易相手国の需要拡大がやや減速し、改善ペースは鈍化しました。金を除いた輸出額は30.2%増の220億米ドルでした。

工業生産に関しては、前年同月比5.1%上昇しました。工場での感染者集団の発生による一部操業停止により、前月からの伸びが減速しました。また、観光業では、新型コロナウイルスワクチン接種を完了した外国人旅行者を検疫隔離免除で受け入れる「プーケット・サンドボックス」の開始によって、ごくわずかながら外国人旅行者は回復しました。

2021年8月のタイのインフレ率

商務省が発表した2021年8月のヘッドライン・インフレ率は、前年同月比0.02%減少し、前月からややマイナス成長となりました。その主な理由は、果物・野菜など食品・飲料部門の価格が下落したほか、住宅の価格も落ち込みました。

品目別にみると、食品・飲料部門は前年同月比1.48%減でした。米・粉製品が6.96%、果物・野菜が7.45%それぞれ下落したことで、全体を押し下げました。しかし、調味料は3.99%、卵・乳製品は3.82%上昇しました。一方で、非食品部門は前年同月比0.93%上昇しました。運輸・通信の上昇が、全体を押し上げました。

一方で、振れ幅の大きい生鮮食品とエネルギーを除くコア・インフレ率は、前年同月比0.07%の小幅な上昇で、前月と比べ横ばいとなりました。

図1: 民間消費及び民間投資(成長率:前年比)

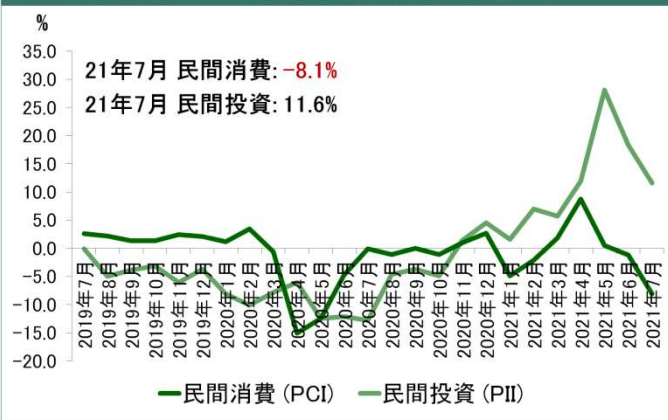


図2: 輸出、工業生産、外国人観光客数(成長率:前年比)

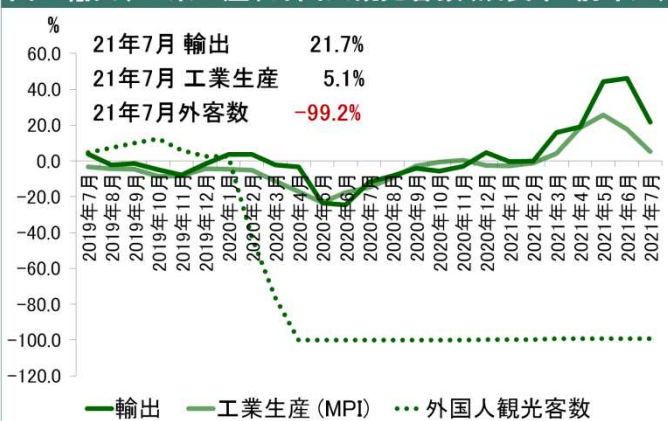


図3: ヘッドラインインフレ率及びコアインフレ率

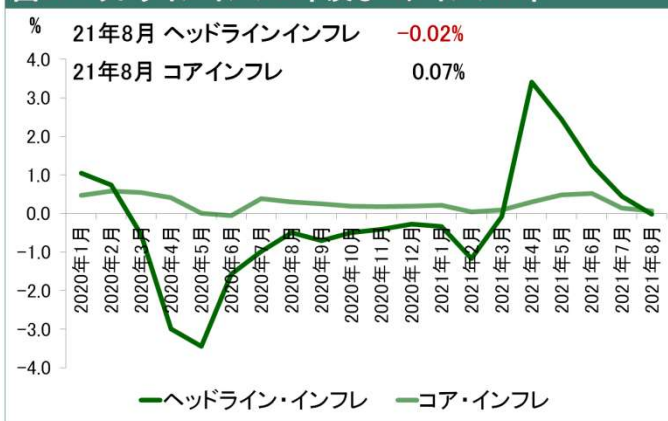
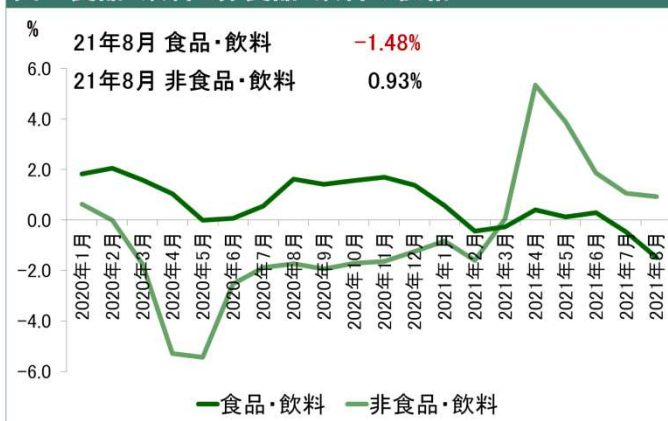


図4: 食品・飲料と非食品・飲料の価格



出所: タイ国中央銀行、タイ国工業省、タイ国観光・スポーツ省、タイ国商務省

バイオプラの輸出量、2021年は38.6%増加見通し

カシコン・リサーチセンターは、2021年のバイオプラスチックの一種であるポリ乳酸(Poly Lactic Acid, PLA)の輸出量が前年比38.6%増加するとの予測を示しました。2022年は輸出成長率が13.6%増の見通しです。

カシコン・リサーチセンターは、タイ国内のPLA生産量が拡大する一方、世界的な供給に限りがあるため、輸出拡大につながっていると見ています。タイのPLA生産はフル稼働となり、新たな工場の稼働

は新型コロナウイルスの感染拡大で遅れるため、来年は供給量が頭打ちとなって輸出成長率は13.6%に減速する見通しです。ただ新工場が本格稼働する2023年には再度拡大すると予測しました。

一方、タイは主に欧州連合(EU)と中国にPLAを輸出していますが、中国は将来的にPLA生産を強化する見込みであるため、新たな市場開拓を進める必要があると考えています。

図5: タイのポリ乳酸(Poly Lactic Acid, PLA)の輸出量の予測

	2019年	2020年	2021年	2022年
タイのPLAの輸出量 (トン)	2万5千600	4万2千000	5万8千200	6万6千100
成長率 (%)	1057%*	64.0%	38.6%	13.6%

出所: TRADEMAP, カシコンリサーチセンターの予測 *タイは2018年からPLAの輸出を始めました。

Disclaimer

This research paper is arranged for public information, which has been obtained from sources believed to be reliable. KResearch does not warrant its completeness, reliability or accuracy for commerce or fitness for a particular purpose. The information contained herein may be subject to change at any time without notice. Reliance upon any information contained herein shall be undertaken at a user's own risk KResearch shall not be liable to any user, or anyone else for any damage occurring from the use of any content herein. Nothing in this research paper shall be counted as containing any advice, recommendation or opinion for decision making in business.